

グローバル教育への取り組み

香川大学農学部

Introduction of Global Education Programs

Faculty of Agriculture, Kagawa University



国際交流協定(実施細則)締結校

International Exchange Agreements

International exchange with academic institutions is important in attaining and strengthening academic excellence. The Faculty of Agriculture has a long history of academic cooperation and has academic-exchange agreements with the following institutions:

1	University of Western Australia	Australia
2	Sher-e-Bangla Agricultural University	Bangladesh
3	University of Dhaka	Bangladesh
4	State University of Londrina	Brazil
5	Royal University of Agriculture	Cambodia
6	University of Battambang	Cambodia
7	Nanjing Agricultural University	China
8	Tianjin Agricultural University	China
9	Zhejiang Gongshang University	China
10	University of Burgundy, Agrosup Dijon	France
11	Geisen Heim University	Germany
12	Bogor Agricultural University	Indonesia
13	Diponegoro University	Indonesia
14	University of Gadjah Mada	Indonesia
15	University of Cadiz	Spain
16	National Chiayi University College of Agriculture	Taiwan
17	National Chiayi University College of Life Sciences	Taiwan
18	Assumption University of Thailand	Thailand
19	Chiang Mai University	Thailand
20	Chulalongkorn University	Thailand
21	Kasetsart University	Thailand
22	Maejo University	Thailand
23	Silpakorn University of Thailand	Thailand
24	Middle East Technical University	Turkey
25	Michigan State University	United States
26	University of California, Davis	United States
27	Hanoi University of Science and Technology	Vietnam

留学生受入れ状況

Status of International Students accepted

On 1st November, 2017, Faculty of Agriculture and Graduate School of Agriculture accept 59 International students. 54.2 % of students belong to Master course and 40.7% to Ph. D course at United Graduate School. 55.9% of students are supported by the scholarship by Japanese Government.

Tailand	16	Korea	1	Bachelor course	3
Indonesia	12	Malaysia	1	Master course	32 54.2%
Bangladesh	12	Mexico	1	Ph. D course	24 40.7%
China	5	South Sudan	1	Total	59
Vietnam	5	Mozambique	1		
Kenya	2	Malawi	1		
The Philippines	1				

(1st November, 2017)

「アジア・アフリカ環太平洋留学生特別コース」
Special Course for International Students from Asia, Africa and the
Pacific Rim
(Master course/ABE Initiative, United Graduate School Doctor course)

本プログラムは、アジア・アフリカ環太平洋地域からの留学生を受け入れ、すべての授業や研究指導を英語により行う大学院プログラムです。現在、私費の留学生受入のほか、アフリカ人材養成プログラム(ABEイニシアティブ/JICA長期研修員)の受入れプログラムとして承認を受け、アフリカ各国からの留学生が学んでいます。



「日本の食の安全特別コース」 Career Development Special Program for Food Safety in Japan (Master course)

平成28年10月4日(火)に、香川大学農学部において、日本の食の安全特別コース第8期生5名(中国 2名、タイ 1名、ベトナム 1名、インドネシア 1名)の入学式が下記のとおり執り行われました。長尾学長より歓迎の辞が述べられた後、ご来賓を代表し、四国経済産業局地域経済部次長 久保 啓二様と株式会社不二製油人財開発部 安達 香織様より、「日本の歴史や文化を学んで人間性を磨き、香川の地で是非しっかりと勉強してほしい。」とお祝いの辞をいただきました。

最後に入学生を代表して、ベトナム出身のタ マイ チュアンさんが日本語で「日本では日本語を習得し、自分の専門分野の研究もがんばりたい。また、卒業後は日本とベトナム間の食品関係のネットワークを構築し貢献していきたい。」と宣誓し、これからの意気込みを述べました。今後2年間の限られた期間の中で、さらなる日本語や研究の向上を期待しています。



平成28年9月28日(水)に、香川大学農学部において、日本の食の安全特別コース第6期生7名(中国 3名、タイ 2名、ベトナム 1名、インドネシア 1名)の修了式が下記のとおり執り行われました。長尾学長から修了生一人一人に学位記を手渡された後、学長、片岡農学研究科長の式辞に引き続き、ご来賓の四国経済産業局地域経済部長 金谷様よりご祝辞をいただきました。

最後に修了生から、2年間の学生生活を振り返り、指導教員を始め、お世話になった関係者の方々への感謝や日本企業に就職するにあたっての意気込みなど、力強いスピーチがありました。多くの方々に祝福され、厳かなうちにも心温まる修了式となりました。



日本・インドネシア6大学イニシアティブプログラム Six University Initiative Japan Indonesia (SUIJI) Program

文部科学省「大学の世界展開力強化事業」

International Service Learning Program

サービスマーケティング プログラム 2016年インドネシア3大学(ボゴール農業大学、ガジャマダ大学、ハサヌディン大学)と四国3大学(愛媛大学、香川大学、高知大学)が連携し、実施しているSUIJI(Six Universities Indonesia Japan Initiative)の国内サービスマーケティングを行いました。8月19日(金)にインドネシア学生が来日、8月20日(土)から日本人学生と共に四国内の各サイトへ移動し、香川大学が担当する小豆島サイトでは学生15名(日本学生10名、インドネシア学生5名)が8月22日(月)から8月31日(水)まで小豆島で活動しました。

その後、副学長表敬訪問、讃岐うどん作り、附属農場での実習を体験した後、各サイトの学生108名が集合し、それぞれの活動を報告しました。



「食の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型プログラム」 International Exchange and Educational Program for Food Safety (Short Stay for International Undergraduate and Graduate Students)

日本学生支援機構(JASSO)の海外留学支援制度

平成28年度第6回目となる農学部ショートステイプログラムを実施しました。東南アジアを中心とした国々からの12ヵ国20大学の大学生・大学院生(台湾2名、カンボジア1名、中国3名、インドネシア4名、フィリピン1名、タイ7名、ベトナム3名、ブラジル2名、トルコ2名、アメリカ1名、イギリス2名、ガーナ1名の合計29名)に世界で最も信頼性の高い日本の食の安全や伝統食品の加工方法等を紹介しました。期間は8月19日から9月21日までの33日間です。

留学生たちは滞在中、香川大学農学部の日本人学生や教員と研究交流を行うほか、日本食研、アサヒビール工場見学、さぬきうどんの製造実習、小豆島町での食品産業(醤油、オリーブ、佃煮、そうめんなど)の見学、希少糖に関する講義と希少糖を使ったアイスクリームの製造実習、食品安全分析学の講義と実習など、実践的な研修を受けました。また、初級日本語の講義、三木町の一般家庭でのホームステイや着物の着付けなども体験して日本文化についても学びました。今回のプログラムにより、農学や食品分野での研究交流および文化交流の一層の推進が期待されます。



日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)

Exchange Program of Science for youth (Short Stay for Young International Scientists)

独立行政法人科学技術振興機構(JST)

7月11日(月)、アジアと日本の青少年が科学技術の分野で交流を深めることを目的とした独立行政法人科学技術振興機構の「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」に本学が採択され、招へいされた外国人研究者等8名が、本学の徳田インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。

一行は、カセサート大学(タイ)、シラパコーン大学(タイ)、ハノイ工科大学(ベトナム)、ホーチミン市校工科大学(ベトナム)、ガジャマダ大学(インドネシア)、国立嘉義大学(台湾)、南京農業大学(中国)、浙江工商大学(中国)で主に食品科学を専攻している学生、研究員、講師8名です。7月10日から7月20日までの約11日間、農学部のプログラムに参加し、研究を行いつつ、食品産業の関連施設や愛媛総合科学博物館を見学し、日本の食品科学技術について学びました。また茶道体験を通して食文化や日本の伝統食品製造法についても学びました。



食の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型プログラム International Exchange and Educational Program for Food Safety (Short Visit for Undergraduate and Graduate Japanese Students)

日本学生支援機構(JASSO)の海外留学支援制度

平成28年9月、農学部3年生17名は、タイ・カセサート大学、チュラロンコン大学、アサンプション大学を訪問し、タイの伝統食品の製造に関する実習や講義の受講、イスラム社会の食事であるハラール食品などについて学びました。また、スラポンニチレイ、サイアムキング醸造会社など、海外事業展開する日系企業2社を訪問・見学実習しました。

8-9月に香川大学を短期訪問(ショートステイ)したタイの学生(カセサート大学、チュラロンコン大学、チェンマイ大学、アサンプション大学)と再会し、休日を中心に濃密な交流を行いました。また、カセサート大学水産学部を中心に多くの学部学生との交流も行い、盛りだくさんの体験実習、食品市場、食品企業等の視察ができ、14日間の行事をすべて終え、無事に帰国しました。参加した学生は、この2週間で大いに成長し、「海外の大学を訪問することで、自分たちの状況(香川大学と日本)を客観的に見つめるきっかけになった」「食品の見方が変わった」などの声が聞かれました。今回の国際インターンシップ参加を契機に、長期の海外留学や修士課程への進学を考えるという学生が複数名おり、香川大学のグローバル化に大いに寄与するプログラムであったと考えます。



香川大学帰国留学生ネットワーク Alumni Net Work of International Students

香川大学では、帰国留学生と本学と帰国留学生間の交流促進を目的として、香川大学帰国留学生ネットワーク(香川大学留学生同窓会を概ね2年に1回程度実施しています。

帰国留学生ネットワーク タイ支部

バンコク市にて開催された、帰国留学生ネットワーク第1回、第2回総会に続き、平成29年3月14日に、チェンマイ市にて第3回総会が開催されました。

週日の開催に関わらず20名近い帰国留学生が参加して、懐かしい香川大学での思い出話や近況報告で盛り上がり、本当に楽しい一時を過ごしました。香川大学で学んだ元留学生が大学や企業などで大いに活躍している姿に、香川の地で一緒に学んだ我々にとって嬉しく、誇らしく深く感動しました。

これまでのタイからの香川大学農学部への留学生は、学位取得者・長期滞在を合わせると130名を越えています。今や、タイからの留学生は第三世代となり、まさに世代を越えた交流が続いています。



帰国留学生ネットワーク 中国支部

2015年8月8日(土)、香川大学帰国留学生ネットワーク中国支部第4回総会が、本学協定校である天津農学院を会場にて開催されました。約50名の参加者があり、香川大学からは長尾学長、ロンインターナショナル副オフィス長、今井田医学部長、徳田医学部教授、姚経済学部教授らとともに、農学部から片岡農学部長、楠谷農学部名誉教授が出席しました。

農学部で学んだ留学生も多く、留学当時の懐かしい思い出や現在の様子などの話題で大いに盛り上がりました。午後には、天津農学院の邢学長を表敬訪問し、崔教授と本学部の楠谷名誉教授との共同研究が進展している中国の良食味米育成のプロジェクトの説明を受けました。今後、さらに広い分野での交流が期待されます。

